

(政務活動費用)

(様式1)

## 出張報告書

令和4年11月7日

釧路市議会議長 松永征明 様

会派名 自民市政クラブ

代表者名 草島 守之



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	続木敏博
出張先	東京都
期間	令和4年10月24日 ～ 令和4年10月26日 (3日間)
用務	地方議員研究会主催 議員研修セミナー受講のため
調査(研修)結果等の概要	別紙の通り
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。  
2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

視察テーマ：財政基礎研修 レベル1 世界一わかる自治体財政編

開催日：2022年10月25日

会場：リファレンス新有楽町ビル（東京）

主催：地方議員研究会

## 第1講義

財政基礎（歳出編）

講師：森裕之氏（立命館大学政策科学部教授）

### 歳出の原則

自治体の財政は国と異なり収入が定まっているため、収入の範囲内で最大の福祉を実現することを目指す。

また、歳出には目的別歳出と性質別歳出の2種類の分類の仕方があり、自治体財政の分析にとっては性質的歳出のほうが、より重要であることの説明をされた。

その事例に鉦路市の財政状況資料集より鉦路市の実際の民生費、商工費、公債費、土木費を使って表にし、一方で、性質的歳出との比較をするために人件費、扶助費、物件費、普通建設事業費の年度別の表も用意されて、具体的な説明をされた。特に私が受講することとは関係なく、鉦路市の財政状況が非常に特徴的な例として目についたので使っているとのこと…。

その説明の際にも、当セミナーに私が参加していたせいで、何度も先生から解説を要求され、鉦路市の状況の説明をしてきた。

もちろん、全国の自治体の中で健全な状況としての例ではなく、その反対の例としての取り上げであったが、このような全国レベルの中でのセミナーの事例として鉦路市の財政状況が取り上げられることは、勉強にはなったがあまりいい気持のするものではなかった。

特に、人件費（令和2年度より会計年度任用職員の給与は物件費から人件費に移行されている）、扶助費、公債費等の義務的経費の取り扱いと、補助費等と繰出し金の割合の率の説明も丁寧にされた。

当セミナーに参加した自治体の決算カードを実際に活用しながら講習は進められたが、他の参加自治体と比べても鉦路市の財政状況は相当柔軟性に向け、ま

だまだ健全化のレベルが足りないことを真に痛感した。

## 第2 講義

### 財政健全化のための基礎的課題

～財政破綻の足音を察知するために見る視点～

午後は財政健全化のための基礎的課題とした講義があった。

まず、自治体の予算、決算の黒字・赤字の説明があり（予算での赤字は基本的にはないが）、財政調整基金と減債基金、その他の特定目的基金の意味と、そのからくりなどを教えていただいた。

この基金等の取り崩しの状況も、具体的な自治体を例に挙げながら（新潟市、浜松市、釧路市、船橋市など）、それによる財政の状況の説明を受けた。

また現在、財政状況が最も悪いとされる京都市を例に挙げながら、財政の健全性を見るためのポイントの話も大変興味深く聞くことができた。

森先生いわく、一度聞いて理解した気持ちにならないで、何度も何度も繰り返し勉強することの重要性の話聞かされ、大いに反省しながら受講を終えてきた。

